

Garden
City
UBE

第 III 章

緑と花と彫刻のまち宇部の
現状と課題

1 「緑と花と彫刻のまち宇部」の現状

主な現状について、大きく「空間」、「人材」、「花苗の生産」の3つに分類しました。

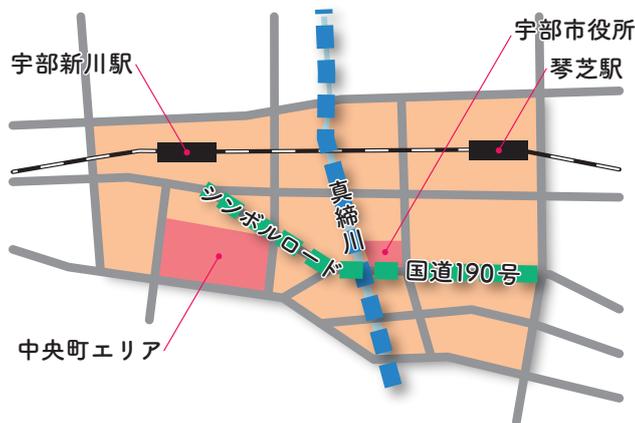
◇：強み ◆：弱み

空間に関する現状

- ◇ときわ公園は、周遊園路や花いっぱい運動記念ガーデンなど、四季折々の緑や花が楽しめる空間が広がり、「緑と花と彫刻のまち」のシンボルとして、市民の憩いの場であるとともに、貴重な観光資源となっている。
- ◇中心市街地（約140ha）は、南北方向には水の軸として二級河川である真締川を有し、東西方向には緑の軸として国道190号とシンボルロード（宇部新川駅前広場～国道190号中央町交差点）を有している。
- ◇2017年から、シンボルロードを中心に「まちなか緑と花の回廊づくり」事業を進めている。
- ◇中心市街地には数多くの野外彫刻を設置している。
- ◆真締川公園は、整備後、長い年月が経過しており、樹木が密集して開放感がなくなっている。
- ◇市制施行100周年の節目に向けて、老朽化した市本庁舎の建て替えを進めている。
- ◆緑や彫刻に比べて、中心市街地に花を感じられる空間が少ない。
- ◆宇部駅周辺や宇部新川駅周辺に緑や花と彫刻が調和した空間が少ない。
- ◇空の玄関口である山口宇部空港では、約160品種・約1,000株のバラが咲き誇る薔薇園が整備され、開花期には賑わいがある。
- ◇楠こもれびの郷やアクトビレッジおのは、北部地域の交流の場となっており、施設内にはバラやハーブなどが植栽されている。



▲ときわ公園の全景



▲中心市街地（水の軸、緑の軸）



▲真締川公園



▲野外彫刻



▼花に詳しい人材

2 有識者や市民意見等

本構想の市民ワークショップの中で「健康促進のためのガーデンセラピーの普及」や「花のまちづくりを進める他都市との交流」、「国内だけでなく、国外に向けた情報発信を強化する」などの提案をいただきました。また、緑と花のまちづくりを継続するための必要な仕組みについてアンケート調査を行った結果、「地域や自治会など、市民を巻き込む仕組み（住民参加）づくりが必要」などの意見が出ました。

▼主なアンケート結果

「緑と花のまちづくり」を継続していくために必要なしくみは何ですか。

- ・市民の意識、関心を持つこと
- ・皆が協力、参加すること
- ・知らない人にどんどん宣伝していく
- ・今あることを十分に活用して、新しいことは少しずつ取り入れていく
- ・だんだん増えていく植物を植える
- ・楽しんでできること
- ・市民がやりたくなる仕組み、巻き込む仕組み
- ・皆に認められる
- ・人口を増やしていく
- ・人の輪
- ・たくさん、又は少しでも参加ができる仕組み

人材に関する現状

- ◇花壇コンクールは、50年以上の歴史を誇り、2018年の秋には114回を迎えた。
- ◆花壇コンクール参加者の高齢化が進んでいる。
- ◇若い世代から花に興味を持ってもらえるよう、花壇コンクールに小・中・高等学校の部門を新設した。
- ◆花木に関する総合的な知識を持った人材が少ない。
- ◇花の育て方スクールなど花に関する講座やイベントを開催している。

花苗の生産に関する現状

- ◆花壇コンクール用の花苗は、春・秋あわせて年間約60万本を市職員とボランティアで栽培している。
- ◆花の種類は、コンクール形式で同時に配布するため、春・秋各5種類と少ない。
- ◆少子高齢化や後継者問題などで生産農家が減少している。
- ◆北部地域を中心に遊休農地が点在している。

その他の現状

- ◆流通量が多い隣接市の花き市場に市場関係者が移行し、本市の市場への流通が減少している。
- ◇農業分野に、生産性、効率性を高めるため、ICT技術の導入が始まっている。
- ◇宇部の名前のついた、つる性ミニバラ「宇部小町」の栽培を進めている。
- ◇山口宇部空港と韓国仁川国際空港間の国際定期便や、台湾などとの国際チャーター便の就航により、外国人観光客が増えている。
- ◆中心市街地の賑わいが少ない。
- ◇2018年6月にSDGs未来都市に選定され、持続可能なまちづくりを進めている。

3 課題の整理

以上のことを踏まえて、「空間」、「人材」、「花苗の生産」の3つの視点などから課題を抽出し整理します。

<p style="text-align: center;">現状</p> <p>◇：強み ◆：弱み</p>	<p style="text-align: center;">課題</p>
<p style="text-align: center;">空間</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ ときわ公園は緑と花と彫刻のシンボルである <ul style="list-style-type: none"> ・四季折々の緑や花が楽しめる ・市民の憩いの場である ◇ 中心市街地は水の軸と緑の軸を有している ◇ 「まちなか緑と花の回廊づくり」を進めている ◇ 数多くの野外彫刻を設置している ◆ 真締川公園の樹木が密集し開放感がなくなっている ◇ 老朽化した市本庁舎の建て替えを進めている ◆ 中心市街地に花を感じられる空間が少ない ◆ 宇部駅周辺や宇部新川駅周辺に緑や花と彫刻が調和した空間が少ない ◇ 山口宇部空港は薔薇園が整備され賑わっている ◇ 楠こもれびの郷やアクトビレッジおのは、北部地域の中心的な交流の場となっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緑と花と彫刻のまちの拠点づくりによる更なる魅力の創出 ・ 緑や花と彫刻が調和した空間の創出 ・ 中心市街地を緑と花と彫刻のまちの顔として魅力を高める ・ 真締川公園の開放感を高める ・ 花を身近に感じられる空間の創出 ・ 市の玄関口として相応しい魅力の創出 ・ 北部地域の拠点として更なる魅力の創出
<p style="text-align: center;">人材</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 花壇コンクールには歴史がある <ul style="list-style-type: none"> ・ 小中高等学校の部門を新設 ◆ 花壇コンクール参加者の高齢化が進んでいる ◆ 花木に関する深い知識を持った人材が少ない ◇ 花に関する講座やイベントを開催している 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校との連携を深める ・ 花木に関する専門的知識を持った人材の育成 ・ 花に関する講座やイベントの充実
<p style="text-align: center;">花苗の生産</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 花壇コンクール <ul style="list-style-type: none"> ・ 生産苗の種類が少ない ・ 市職員とボランティアで苗を栽培 ◆ 生産農家が減少している ◆ 遊休農地が点在している 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 花壇コンクール用の花苗の生産体制の強化 ・ 花き産業の活性化 ・ 遊休農地の活用
<p style="text-align: center;">その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 隣接市の花き市場へ関係者が移行している ◇ ICT 技術を農業に導入する傾向がある ◇ 宇部小町の栽培 ◇ 外国人の観光客が増えている ◆ 中心市街地の賑わいが少ない ◇ SDGs 未来都市に選定される 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生産、流通のシステムの構築 ・ ICT 技術の導入 ・ 宇部小町などを使ったブランドの創出 ・ 国際的なイベントの創出 ・ 中心市街地の賑わいづくり ・ SDGs のまちづくりを進める